

事業評価票

313	ヒートアイランド対策暑熱対応 (環境局地球環境エネルギー部/一般会計)	事業開始	平成 27 年度
		事業終期	平成 32 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都では、これまで、緑化や省エネルギーの取組などヒートアイランド対策を着実に推進してきた。 ○ 一方で、近年の気候変動の影響もあり、都市の高温化は継続している。 ○ まちなかでの暑さ対策の展開により、心地よい都市環境を目指していく。 ○ また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、競技会場周辺やまちなかでの暑さ対策を強化していく。 	
根拠法令等	東京都環境基本計画等

2 どのように取り組み、どのような成果があったか	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度から実施したクールスポット創出支援事業等により、まちなかでのドライ型（微細）ミストの整備等の暑さ対策を推進している。 《事業実績》 27年度補助実績 8件 ○ また、都が実施主体となった夏期のイベントにおいて、打ち水やドライ型（微細）ミスト等の体験、各種暑さ対策技術の実証等を行い、暑さ対策の普及啓発を行っている。 ○ 併せて、区市町村や事業者、一般都民による暑さ対策の取組を促進するため、「夏の暑さ対策の手引き」を作成した。 	

3 どのような課題や問題点があったか	
<ul style="list-style-type: none"> ○ クールスポット創出支援事業等により、まちなかでの暑さ対策は少しずつ進展しているものの、未だ低調である。また、これまでの対策は部分的なものにとどまり、暑さ対策の取組を更に推進していく必要がある。 ○ 東京2020大会開催に向け、特に観客の集まる競技会場周辺エリアにおいて、暑さ対策を講じていくことが求められている。 ○ 打ち水等の暑さ対策を都民や社会に定着させていくため、様々な主体による取組の一層の推進が必要となっている。 	

4 局として、事業をどうしていきたいか					
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京2020大会開催に向け、競技会場周辺の多くの観客や都民が集うエリアで、暑さ対策を集中的に整備する。この取組を「ショーケース」とし、区市町村や民間等による暑さ対策を誘導・促進していくとともに、「レガシー」として未来に引き継いでいく。 ○ 多様な主体による暑さ対策を推進するため、区市町村が実施する打ち水等の取組について財政支援を行う。 ○ 「夏の暑さ対策の手引き」を活用するなど、様々なイベントやセミナーを通じて、都民や社会への暑さ対策の普及促進を行う。 					
歳入	27年度決算額	— 千円	歳出	27年度決算額	26,924 千円
	28年度予算額	110,000 千円		28年度予算額	137,819 千円
	29年度見積額	175,000 千円		29年度見積額	316,498 千円

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 都内の暑さ対策については、都だけではなく、区市町村や事業者等の取組を通じて、社会全体に定着させていくことが重要である。 ○ 東京2020大会に向け、競技会場周辺の多くの人々が集まるエリアについては、計画的に暑さ対策を講じていくことが重要である。 	

6 29年度予算で、どのように対応したか			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
<ul style="list-style-type: none"> ○ クールスポット創出支援事業や競技会場周辺における暑さ対策について、必要性は認められるため、実績等を踏まえ経費を精査し、所要額を計上する。 			
歳入	29年度予算額	175,000 千円	
歳出	29年度予算額	206,498 千円	